

### 課題3：本「新・中国料理」のマルチメディア・データベース化



教材 女子栄養大学出版部 相川方著「新・中国料理」

課題1, 2では、女子栄養大学「栄養と料理基本カード」からのデータを取り込んで、データベースにしましたが、紙媒体のデータをパソコンに取り込むという最も大変な作業は、省略しました。

「新・中国料理」の本を、各人分担の上で、スキャナーおよびOCRソフトを使って、パソコンに取り込み、集め、さらにデータベースにすることが課題3です。

問1) 各料理に対して、食品画像は、スキャナーを使って、画像データとして取り込み、ファイル名「ページ番号.png」で、Xドライブのフォルダー「作業用」に保存すること。1ページに複数料理あるが、まとめて1ファイルでよい。

問2) 各料理に対して、文字部分を、スキャナー&OCRソフトを使って、文字データとして取り込み、誤字脱字を直した上で、ページ数×100+何個目かの数字.txt というファイル名で、Xドライブのフォルダー「作業用」に保存すること。(方法は教材参照)

問3) 問2) で得た文字データを、課題2のデータベース(一部フィールドの追加あり)にすぐに取り込めるように、Excel上で分類すること。なお、Excelは、「料理データ」および「食材データ」という名前の2つのシートをつくり、ファイル名は、「席番号ニックネーム.xls」とし、Xドライブに保存する。

#### 1) 食材(データ)について、シート名「食材データ」

フィールドは「料理 No.」, 「日本語料理名」, 「食品名」, 「表示量」, 「材料の食品番号」, 「量(g)」の順。1食材1行にして、データベースにインポートする際に、1行1レコードになるようにしておくこと。

- i) フィールド「料理 No.」は、ページ数×100+何個目かの数字。例えば、46ページに3つの料理が載っているが、順番に、「肉末芹菜」は4601、「搾菜炒肉末」は4602、「粉絲肉末」は4603となる。資料「料理本分担料理」参照
- ii) フィールド「日本語料理名」, 「食品名」, 「表示量」については、問2)のデータを、セ

ルごとに、コピー&貼り付けすればよい。(誤字脱字の最終チェックは必ずすること。)

- iii) フィールド「**材料の食品番号**」**、**「**量(g)**」については、栄養計算ソフト等を使い、「食品名」に対応する**各食材の食品番号**と「表示量」に対応する**量(g)**(g表示の場合、そのままコピー)を見つけ、**食品成分表にあるものは、必ず**入力すること。

## 2) 料理データについて シート名「料理データ」

フィールドは「料理 No.」**、**「料理名(中国名)」**、**「よみがな」**、**「日本語料理名」**、**「人数分」**、**「作り方」**、**「ポイント」**、**「群別での分類」**、**「調理法での分類」の順。1料理1行にして、データベースにインポートする際に、1行1レコードになるようにしておくこと。

- i) フィールド「料理 No.」 食材データと同じ  
ii) フィールド「料理名(中国名)」**、**「よみがな」**、**「日本語料理名」**、**「人数分」**、**「作り方」**、**「ポイント」については、問2)のデータを、セルごとに、コピー&貼り付けすればよい。(誤字脱字の最終チェックは必ずすること。)

ただし、フィールド「**作り方**」のデータは、数行に渡るので、貼り付け方に注意すること。まず、貼付先のセルをクリックし、次に、数式バーにマウスを持って行って、数式バーにおいて貼付けること。なお、貼り付け後は「セルの書式設定」の「配置」が「折り返して全体を表示する(W)」に自動的にになって、行が高くなるので、「セルの書式設定」でチェックをはずしておくこと。

- iii) フィールド「群別での分類」は、日本語料理名の食材等から判断し、入力すること。  
iv) フィールド「調理法での分類」は、「煮物」**、**「汁物」**、**「焼き物」**、**「蒸し物」**、**「酢の物・あえ物・浸し物」**、**「いため物・あんかけ」**、**「揚げ物」**、**「サラダ」**、**「なま物」**、**「ご飯・めん・パン」**、**「菓子」**、**「漬物」の別を判断し、入力すること。

以上担当分をまとめて、席番号ニックネーム.xls という名前に変えて、Xドライブに保存すること。また、それをZドライブにコピーすること。(3/4(火)5時限目までに)

問4) 3/5(水) 1時限目の前までに、問3)の各人提出分を、Yドライブのフォルダーにまとめてコピーしておくので、フォルダーごと、Xドライブのフォルダー「作業用」にコピーし、それらを1つのExcelファイル(ファイル名「新中国料理 DB.xls」として)した後で、データベースにすること。

データベースは、課題2で作ったデータベースを利用してよい。すなわち、

- 1) 課題2で作ったデータベースを、フォルダーごとコピーし、フォルダー名を「学籍番号c」に変える。
- 2) 食材DB.fp7においては、上で作ったExcelファイルをインポート(追加でよい。)
- 3) 料理DB.fp7において、フィールド「料理名(中国名)」**、**「よみがな」**、**「人数分」**、**「ポイント」を追加。上で作ったExcelファイルをインポート(追加でよい。)さらに、担当分の食材画像は、データベースに載せること。